

平成25年度 一般会計 決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P.74	説明資料	P.54	款	03民生費 /02総務費 /07商工費	部・局	7健康長寿福祉部/05市民部/09商工観光
	P.130		P.112	項	01社会福祉費 /01総務管理費 /01商工費	課	01生活福祉課/01市民課/01商工振興課
	P.240		P.224	目	01社会福祉総務費/01一般管理費/01商工総務費	計画項目	Ⅲ 健やか安心都市
				事業 細事	24くらしとしごと寄り添い支援事業/07法律・市民相談事業/02消費生活推進事業 01くらしとしごと寄り添い支援事業/02市民相談事業/01消費生活推進事業	基本方針	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一般財源	(参考) 最終予算額	
		国庫支出金	府支出金	市債	その他			
寄り添い支援総合サポートセンターの設置	40,003	33,699	4,769		248	1,287	39,975	
【項目の決算概要】 相談者の利便性を向上させる相談のワンストップやきめ細かな相談支援を行うため、『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター、市民相談室、多重債務相談・支援室、消費生活センターを1か所に集め、「寄り添い支援総合サポートセンター」を平成25年8月26日に設置し、相談支援の連携・機能強化を図った。 <主な事業費> ○センター臨時職員賃金(8人分)：15,695千円 ○センター修繕費：6,888千円 ○就労に係るセミナー委託料：3,543千円 ○就労訓練先を開拓するための調査研究事業委託料：1,991千円(H25のみ) ○消費生活学習グループ活動費補助金：250千円	特 定 財 源 の 内 訳							
	国補助：生活困窮者自立促進支援モデル事業補助金		33,699					
	府補助：消費者行政活性化事業費補助金		4,769					
	財産収入：公有財産使用料		248					
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
	H25～							
	【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ							
	H23 年度策定	第2次京丹後市地域福祉計画					期 間	H24年度～H28年度
	年度策定							
	【市民参加の有無】							
無								
【今後の事業の方向性】								
市の総合的な相談窓口としての役割と、市民の抱える問題の早期発見・早期解決により、誰一人置き去りにしないまちづくりを推進していく。 また、重篤化を防ぐことや就労支援により、社会保障費の減少効果も期待できる。						参 考	H23決算	34,910
							H24決算	28,068
							H26予算	46,436
【事業実施の経緯及び成果】 相談窓口が離れていたことから、相談窓口を1か所に集中させ相談・支援の連携強化を図ることが課題となっていた。相談窓口を1か所に集めた「寄り添い支援総合サポートセンター」の設置は、総合的、伴走型の支援に加え、市民相談、多重債務相談・支援、消費生活相談の窓口を集めることで、専門性、迅速性、連携機能などの強化が図られ、相談者の利便性を向上をさせるとともに、市民生活の安心した暮らしに寄与することができた。 <相談状況内訳> ・『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター：108人 ・市民相談室：103人 ・多重債務相談・支援室：51人 ・消費生活センター：244件(案件による集計)	【事業費内訳】 合 計 40,003							
	節-D	細 節 等 名 称		金 額	節-D	細 節 等 名 称		金 額
	04	共済費 社会保険料、雇用保険料等		2,061	14	緊急一時宿泊居宅借上げ、自動車借上げ料等		1,379
	07	寄り添い・市民・消費相談支援員賃金		15,695	15	ネットワーク移設に伴う工事請負費		17
	08	講師謝礼		210	18	PC及びネットワーク機器等備品購入費		758
	09	旅費		1,095	19	講習会負担金、消費生活学習補助金		256
	11	需用費 消耗品費、燃料費、修繕料ほか		9,883	27	自動車重量税		55
	12	役務費 通信運搬費、各種手数料ほか		1,688				
	13	各種セミナー、中間的就労調査研究等委託料		6,906				

平成25年度

一 般 会 計 決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 78	説明資料	P. 57	款	02	総務費	部・局	02	(秘書広報広聴課)
				項	01	総務管理費	課	01	秘書広報広聴課
				目	03	広報費	計画項目	V	パートナーシップ都市
				事業	01	広報広聴事業	基本方針	②	協働と共創のまちづくりの推進
細事	01	広報広聴事業							

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額		
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他				
くらしの支援ガイド発行事業	2,458					2,458	2,458		
【項目の決算概要】	特 定 財 源 の 内 訳								
<p>市民の日常生活に関わりが深い子育てや就学、福祉の助成制度や負担軽減制度をまとめた「くらしの支援ガイド」を作成し各戸配布を行った。</p> <p>平成25年度版のガイドについては、商工業・企業立地等にかかる支援制度や防災・安全、医療機関情報等も掲載するなどして内容の充実を図った。また、2色刷りからフルカラーに変更し、レイアウトも一新するなどして、より見やすくする工夫に努めた。</p> <p>これまで印刷製本のみ業務委託をしていたが、ガイドの全面リニューアルに当たり、データ作成と合わせて委託したため、作成費用は増額となった。</p> <p>○印刷製本費 2,458千円 ・平成26年3月発行 ・A4フルカラー 80ページ (22,300部)</p>	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
	H22 ~	7,075		300			6,775		
	【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ								
	年度策定						期		
	年度策定						間		
【市民参加の有無】	無								
【今後の事業の方向性】	市民に広く情報（暮らしに身近な制度など）を周知する上で、必要なガイドブックであることから、今後も毎年発行する。						参 考	H23決算	773
								H24決算	829
								H26予算	2,409
【事業実施の経緯及び成果】	<p>本市においては、厳しい雇用・経済情勢を踏まえ、平成22年度から、市民の暮らしに直結した支援策や補助制度などを掲載した「くらしの支援ガイド」を作成し、市民生活を支えることに努めてきた。</p> <p>そうした中、平成26年度からの消費税増税を見据え、生活の様々な場面での一層の支援となるよう、既存のガイドについて、国、府等の制度も含め、さらに多くの情報を掲載し、より見やすく、分かりやすい紙面に一新。市民が安心して暮らすための一助並びに市政への理解につながった。</p>								
【事業費内訳】		合 計		2,458					
節-ド	細 節 等 名 称	金 額	節-ド	細 節 等 名 称	金 額				
11	印刷製本費	2,458							

平成25年度

一 般 会 計 決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 86	説明資料	P. 67	款	02	総務費	部・局	03	企画総務部
				項	01	総務管理費	課	01	企画政策課
				目	07	企画費	計画項目	Ⅶ	計画推進のために
				事業 細事	07 01	総合計画策定事業 第2次総合計画策定事業	基本方針	①	効率的な行財政運営の推進

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額	
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他			
第2次総合計画策定事業	2,447					2,447	2,476	
【項目の決算概要】	特 定 財 源 の 内 訳							
<p>京丹後市まちづくり基本条例第3条第2項に定められた「まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本構想及びこれを実現するための基本計画並びにまちづくりに関するその他の計画は、この条例に沿って策定されなければならない。」の規定に基づき、これからのまちづくりの指針となる第2次総合計画を策定するために必要な経費</p> <p>○第1回総合計画審議会委員報酬(4,000円×17人×1回) 68千円 ○第1回総合計画審議会委員費用弁償 32千円 ○審議会委員協議職員旅費 8千円 ○総合計画宛名ラベル代(消耗品費) 11千円 ○第2次京丹後市総合計画策定市民アンケート返信用封筒代 11千円 ○第2次京丹後市総合計画策定市民アンケート郵送代 307千円 ○第2次京丹後市総合計画策定支援業務委託料 2,000千円 ○審議会委員、委託業者協議に係る高速道路、駐車場代 10千円</p>	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
	H25 ~ H26	7,798					7,798	
	【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ							
	年度策定						期 間	
	年度策定							
【市民参加の有無】								
有 市民アンケートや各界・各層からなる総合計画審議会で市民の意見を反映しながら第2次総合計画を策定								
【今後の事業の方向性】								
平成27年度から平成36年度(10年間)の第2次京丹後市総合計画を平成26年度に策定する。							参 考	
							H23決算	0
							H24決算	0
							H26予算	5,351
【事業実施の経緯及び成果】								
平成27年度から10年間の第2次京丹後市総合計画策定に係る諸準備を進めた。								
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年7月23日～8月20日 市民アンケート実施 (無作為抽出した16歳以上の市民3,200人を対象) ※有効回収数1,004人、回収率31.4% 平成26年1月20日 第2次総合計画策定について諮問し、第1回審議会を開催した。 								
【事業費内訳】								
合 計		2,447						
節-ド	細 節 等 名 称	金 額	節-ド	細 節 等 名 称	金 額			
01	総合計画審議会委員報酬	68	14	有料道路通行料	10			
09	費用弁償	32						
	普通旅費	8						
11	消耗品費	11						
	印刷製本費	11						
12	通信運搬費	307						
13	総合計画策定業務委託料	2,000						

平成25年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 100	説明資料	P. 86	款	02	総務費	部・局	09	商工観光部
				項	01	総務管理費	課	02	観光振興課
				目	12	交通確保対策費	計画項目	VI	うるおい安全都市
				事業	02	北近畿タノゴ鉄道利用促進対策事業	基本方針	⑤	地域交通の確保
細事	02	駅舎等施設管理事業							

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一般財源	(参考) 最終予算額							
		国庫支出金	府支出金	市債	その他									
京丹後市観光情報センターの設置	4,648				4,648		4,648							
【項目の決算概要】 観光の窓口である北近畿タノゴ鉄道の網野駅を拠点に、市内のあらゆる観光情報を把握し、観光客に発信していくために網野駅待合室を改修して「京丹後市観光情報センター」を開設した。 ○網野駅改修工事設計監理業務 420千円 ○網野駅改修工事 4,228千円 開設日：平成25年10月1日 運営：京丹後市観光協会	特 定 財 源 の 内 訳													
	繰入金：観光庁等整備等促進実行調整費基金繰入金： 4,648													
	事業期間													
	H25 ~ H25		総事業費 4,648		国庫支出金		府支出金		市債		その他 4,648		一般財源	
	【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ H25 年度策定 第2次京丹後市観光振興計画 期間 H25年度～ 年度策定													
	【市民参加の有無】 無													
	【今後の事業の方向性】 更なる効率的な組織運営と効果的な誘客活動を推進していくことが必要である。													
	【事業実施の経緯及び成果】 本市では、観光立市の実現を目指し、平成25年6月に「第2次京丹後市観光振興計画」を策定し、その重点戦略プロジェクトの一つとして「観光推進体制の強化」を据えている。 今回開設した「京丹後市観光情報センター」は、市と観光協会が連携を強化して「ワンストップ窓口」を構築するものであり、観光推進体制の強化・構築に寄与することができた。 また、本市を訪れる観光客に対し観光情報の一元的な提供を行うとともに、ワンストップ窓口によるコンシェルジュ機能を充実させた「おもてなし」による観光客の増加を目指し、さらなる観光推進につなげることができた。													
	【事業費内訳】 合 計 4,648													
	節コード	細 節 等 名 称				金額	節コード	細 節 等 名 称				金額		
13	設計監理委託料				420									
15	網野駅改修工事				4,228									

平成25年度

一般会計決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P.104 P.266	説明資料	P.87 P.253 P.254	款 02総務費 /08土木費	部・局 05市民部 /10建設部	項 01総務管理費 /02道路橋梁費	課 02市民協働課 /01管理課、02土木課	目 13諸費 /02道路橋梁維持費	計画項目 V パートナーシップ都市	事業 02防犯対策事業費 /01道路橋梁等補修事業	基本方針 ② 協働と共創のまちづくりの推進	細事 02防犯灯設置事業/01市道環境整備事業、02市道維持補修事業
-------------	----------------	------	------------------------	-------------------	---------------------	-----------------------	---------------------------	----------------------	----------------------	------------------------------	--------------------------	---------------------------------------

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最終予算額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
地域協働型小規模公共事業	26,133					26,133	26,133

【項目の決算概要】

地区要望のうち小規模な公共事業について、行政と地域が協働して実施優先順位、実施箇所、実施方法等を検討し、市民局と地域住民が主体となって当該事業を速やかに実施することで、安心安全で快適な生活環境の保全及び地区要望の実現促進を図った。

所管課	事業概要	事業費(千円)
市民協働課	集落間LED防犯灯設置工事(8か所、LED防犯灯24灯新設：峰9、大3、網4、丹1、弥2、久5)	571
管理課	交通安全施設修繕(27件：峰2、大6、網0、丹9、弥2、久8)	3,940
土木課	市道維持補修(67件：峰14、大16、網9、丹11、弥7、久10)、機械借上(33件：峰12、大0、網7、丹6、弥1、久7)、原材料費(120件：峰30、大9、網18、丹6、弥4、久53)	21,622

特 定 財 源 の 内 訳						
事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
H25 ~	26,133					26,133

【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ

年度策定		期 間	
年度策定			

【市民参加の有無】

無

【今後の事業の方向性】

行政と地域との協働により、地区要望が早期に実現でき、安心安全で快適な生活環境の保全をさらに進めるため、必要に応じて制度の見直しを行う。

参 考	H23決算	0
	H24決算	0
	H26予算	25,785

【事業実施の経緯及び成果】

○近年における地区要望の増大に対し、地区要望の実現促進を図るため、要望のうちの小規模で簡易な公共事業について、行政と地域が協働して優先順位、実施箇所、実施方法等を検討し、市民局と地域住民が主体となって事業を実施するもの。

○小規模で簡易な工事などについて、地域に密接に関わっている市民局が地域の窓口として事業を円滑に実施するほか、道路等維持修繕においては、市から支給された原材料や機械借上料により、地元が自ら労働力を提供して工事を施工することで、事業の早期実現と経費抑制が図れた。

【事業費内訳】		合 計	26,133		
節-ト	細 節 等 名 称	金 額	節-ト	細 節 等 名 称	金 額
<細事：防犯灯設置事業>			<細事：市道維持補修事業>		
15	工事請負費	571	11	修繕料	12,530
			14	重機借上料	1,006
<細事：市道環境整備事業>			16	道路補修材料	8,086
11	修繕料	3,940			

平成25年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 168	説明資料	P. 146	款	04	衛生費	部・局	07	健康長寿福祉部
				項	01	保健衛生費	課	04	健康推進課
				目	01	保健衛生総務費	計画項目	Ⅲ	健やか安心都市
				事業 細事	04 01	食育推進計画策定事業 食育推進基本方針策定事業	基本方針	①	市民主体の健康づくりの推進

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
食育推進基本方針策定事業	524					524	449
【項目の決算概要】 農政、教育関係部局等と連携を図り、「京丹後市食育推進基本方針」を策定した。 ○先進地視察 新潟県三条市（6人） ○食育推進基本方針策定委員会（委員14人） 3回開催 ○庁内食育推進会議 7回開催 ※庁内会議及び策定委員会では、学識経験者からアドバイスをいただき、協議を重ねた ○食育推進基本方針概要版の作成 策定した基本方針を広く市民に周知するために、「食育推進基本方針概要版」（21,000部）を作成し全戸に配付	特 定 財 源 の 内 訳						
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
	H25 ~ H25	524					524
	【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ						
	H18 年度策定	健康増進計画					期間 H19年度~H28年度
	年度策定						
	【市民参加の有無】						
	無						
	【今後の事業の方向性】						
	策定した基本方針に基づき、各分野で食育の推進を図る。 平成29年度年には「健康増進計画・食育推進計画」として策定する予定のため、今後3年間の各種事業の評価とあわせ、市民の実態を調査するためのアンケートを実施する。						参 考
【事業実施の経緯及び成果】							
農業、水産、教育、保健（健康）などの各分野で取り組んでいる食育について、連携・整合性を図り生涯にわたって間断なく推進することを目的に、本市における食育推進の方向性や取組を体系化した「京丹後市食育推進基本方針」を策定した。 庁内会議及び策定委員会において、各分野における食育の現状や課題を明らかにし、本市における食育の方向性や取組を体系化するため協議を重ね、基本理念を「京丹後の恵みに感謝！笑顔あふれる市民の食卓づくりをめざします」とし、平成28年度までの3年間に推進期間とした。 食育に携わる関係団体・機関と認識を共有するとともに、食育推進基本方針概要版を全戸に配付し、市民に食育について発信するなど、総合的に食育を推進する基本方針を示すことができた。							
【事業費内訳】 合 計 524							
節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額		
08	アドバイザー謝金・策定委員会委員謝金	172					
09	先進地視察等旅費	157					
11	概要版印刷製本費	181					
14	有料道路通行料	14					

平成25年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 180	説明資料	P. 165	款	04	衛生費	部・局	08	農林水産環境部
				項	01	保健衛生費	課	04	環境バイオマス推進課
				目	07	環境衛生費	計画項目	Ⅱ	環境循環都市
				事業	18	資源循環推進事業	基本方針	④	循環型社会の構築
				細事	01	資源循環推進事業			

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最終予算額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
「生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会」の設置	188					188	188

【項目の決算概要】

生ごみ資源化の取り組みを全市的に展開することを視野に入れ、ひいては焼却処分する生ごみをゼロに近づけるような具体的方策を検討するため、生ごみ排出者や資源化業者、資源活用者などで構成する委員会を組織し検討した。

- 生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会 188千円
 - ・生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員謝金 172千円
 - ・費用弁償 16千円

- 第1回 (7/29)
- 第2回 (10/29)
- 施設見学・事例学習 (11/19 於：エコエネルギーセンター)
- 第3回 (11/28)
- 第4回 (2/6)

特 定 財 源 の 内 訳						

事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
H25 ~ H25	188					188

【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ			
H18 年度策定	京丹後市一般廃棄物処理基本計画	期 間	H18年度～H32年度
H21 年度策定	京丹後市環境基本計画	期 間	H21年度～H30年度

【市民参加の有無】	
有	市民や資源化業者、資源活用者などを構成員として「生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会」を設置し、本市の状況に応じた生ごみ資源化の方法等について検討を行った。

【今後の事業の方向性】		参 考	H23決算	0
委員会での検討を受けて、今後は、できる限り速やかに市内全ての家庭系生ごみの資源化を実現するため、市民への普及啓発によりまずは対象世帯の参加を推進しつつ、必要な分別収集体制の構築や対象世帯の増加にあわせた受け入れ施設の整備などを具体的に決定する必要がある。			H24決算	0
			H26予算	0

【事業実施の経緯及び成果】

市では、平成22年度末から市内6か所のモデル地区（約194世帯）で生ごみ分別回収を実施し、一般家庭で生ごみの分別を行う上での課題などを把握し、今後の資源化方法や分別地域の拡大を検討してきた。委員会では、資源化に適した分別のあり方や対象範囲、本市の状況に応じた最適な収集運搬方法、市エコエネルギーセンター等を活用した最適な資源化の方法とその活用方法等について具体的に検討した上で、生ごみの資源化を全市的に展開することとし、平成30年度中に市内全ての家庭系生ごみを資源化する目標を設定した。

【資源化推進の目標設定】※分別収集の対象世帯数

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
500世帯	1,000世帯	5,000世帯	10,000世帯	22,510世帯

【事業費内訳】		合 計		188	
節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額
08	生ごみ資源化・ゼロエミッション検討委員会委員謝金	172			
09	費用弁償	16			

平成25年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 180	説明資料	P. 166	款	04	衛生費	部・局	08	農林水産環境部
				項	01	保健衛生費	課	04	環境バイオマス推進課
				目	07	環境衛生費	計画項目	Ⅱ	環境循環都市
				事業	19	再生可能エネルギー推進事業	基本方針	②	新しいエネルギーの導入と活用
細事	02	再生可能エネルギー推進事業							

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
「再生可能エネルギーの導入促進会議」の設置	1,765					1,765	1,874

【項目の決算概要】

京丹後市再生可能エネルギー導入促進に関する基本的な方針に基づき設置。再生可能エネルギーを活用した地域活性化モデルの発掘・開拓、事業化等を調整するとともに普及促進を図り、地域展開を推進した。

- 政策企画委員報酬 100千円
- 再生可能エネルギー導入促進会議開催経費 4回開催 304千円
H25.4.30(火) / 7.4(木) / 11.19(火) / H26.3.19(水)
- 再生可能エネルギー普及啓発映画上映会等の開催経費 195千円
H25.10.15 意見交換会 峰山地域公民館 参加者：5団体5人
ドキュメンタリー映画上映会・座談会 2回 参加者：延べ47人
- ハンズオン支援業務委託料 895千円
事業化検討等における実践活動支援(助言・指導) 3事業者
- その他 271千円
普通旅費

特 定 財 源 の 内 訳						

事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
H25 ~ H26	4,039					4,039

【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ

H21 年度策定	京丹後市環境基本計画	期 間	H21年度~H30年度
年度策定			

【市民参加の有無】

有 金融機関や各方面からなる委員構成により再生エネ導入促進会議を設置し、地域における再生可能エネルギーの事業化を推進した。

【今後の事業の方向性】

再生可能エネルギー固定価格買取制度におけるプレミアム期間、電力システム改革・規制合理化等の動向を踏まえ、一定の期間を見据える中において受給両面から、また公共サービスの観点から再生可能エネルギーの活用施策の検討、地域が自主的に再生可能エネルギーを創出できる環境整備を進める。

参 考	H23決算	0
	H24決算	0
	H26予算	2,274

【事業実施の経緯及び成果】

H24年度の事業化検討委員会において事業化推進のための基本方針を定め、導入促進会議の設置及び導入促進を図ることとした。H25年度では、市民太陽光発電所事業特別会計の設置及び同整備工事の実施、木質バイオマス活用事業の推進、再生可能エネルギー事業アイデア・市有施設活用型太陽光発電普及推進事業の公募、再生可能エネルギー事業の発掘、事業化等を推進した(委員10人)。

【主な議事】

- ・大規模太陽光発電施設に係る事業化検討・審議(第1回)
- ・木質バイオマス活用施設及び活用体系の検討・審議(第1回)
- ・公募アイデアの意見調整、事業化検討(第2回)
- ・H26年度実施事業の検討、意見調整(第3回)
- ・公共施設太陽光事業、導入促進支援補助金の制度化検討(第4回)

【事業費内訳】

合 計		1,765			
節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額
01	政策企画委員報酬	100	14	映画フィルム借上料	63
08	再生可能エネルギー導入促進会議委員謝金	28			
09	費用弁償	276			
09	普通旅費	271			
11	印刷製本費	64			
12	新聞折込手数料等	68			
13	再生可能エネルギー事業支援業務委託料	895			

平成25年度

一 般 会 計 決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 218	説明資料	P. 197	款	06	農林水産業費	部・局	08	農林水産環境部
				項	01	農業費	課	01	農政課
				目	04	農政推進費	計画項目	I	交流経済都市
				事業 細事	07 05	新規就農者育成事業 京丹後農業経営実践型学舎推進事業	基本方針	②	農林業の振興

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
京丹後農業経営実践型学舎推進事業（現年）	22,000			20,800		1,200	22,000

【項目の決算概要】

平成25年7月に京都府と京丹後市が共同で大規模農業経営者の育成に総合的に取り組む「丹後農業実践型学舎」を創設。国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図った。
平成25年度は、丹後農業実践型学舎事業の学舎用地の土地改良を行う負担金を京都府へ支出した。

○学舎用地整備事業負担金

土地改良面積

- 峰山町 小西団地0.5ha、矢田団地1.7ha、二箇団地7.0ha
- 網野町 郷団地3.3ha
- 丹後町 高山団地2.4ha
- 弥栄町 堤団地9.5ha、上野団地1.8ha、奈具岡団地2.5ha
- 鴨谷団地1.9ha
- 久美浜町 永留1・2団地3.8ha

22,000千円

○平成25年度学舎農場整備全体事業費

110,000千円（国55%、府25%、市20%）

特 定 財 源 の 内 訳	
市債	農業経営実践型学舎用地整備負担金事業債 20,800

事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
H25～H30	212,300	59,473		131,300		21,527

【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ

年度策定	計画名	期 間
H19 年度策定	京丹後市農業農村振興ビジョン	H20年度～H29年度
H24 年度策定	京丹後地区活性化計画	H24年度～H26年度

【市民参加の有無】

無

【今後の事業の方向性】

学舎生を事業期間中に50人程度（各年10人）募集して、京丹後市の国営開発農地で大規模農業経営を目指す担い手農家を育成していく。京丹後市で生産するブランド京野菜の生産量増加を目指すとともに適正な農地管理を実施していく。

参 考	H23決算	0
	H24決算	8,000
	H26予算	924

【事業実施の経緯及び成果】

丹後農業実践型学舎の研修用農地として京都府が実施する丹後国営開発農地の営農条件整備工事に対して負担金を支出した。
整備した用地は、学舎生が研修を終了した後もそのまま使用できるので、国営開発農地の適正な農地管理や若い農業者の育成を図る。

【事業費内訳】		合 計	22,000		
節-ド	細 節 等 名 称	金 額	節-ド	細 節 等 名 称	金 額
19	負担金	22,000			

平成25年度 一般会計 決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 246	説明資料	P. 236	款	07	商工費	部・局	09	商工観光部
				項	01	商工費	課	01	商工振興課
				目	02	商工振興費	計画項目	I	交流経済都市
				事業 細事	12 01	地域資源活用ビジネス創出事業 地域資源活用ビジネス創出事業	基本方針	④	商工業の振興

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額																										
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他																												
地域資源活用ビジネス創出事業	1,033					1,033	1,033																										
【項目の決算概要】	特 定 財 源 の 内 訳																																
<p>峰山南地区をモデル地区として、地域と大学が一緒になって地域活性化に取り組む「域学連携」の活動を慶應義塾大学へ委託して実践し、地域活性化に向けた今後の活動方針を最終報告書としてまとめた。</p> <p>○地域資源活用ビジネス推進経費 1,033千円 (職員旅費33千円、研究委託料1,000千円) H25.7月 大学にて京丹後市に関する勉強会開催 H25.7月 峰山南地区で地域づくりに関する講演会開催 H25.8月 大学生の事前訪問 H25.9月 大学生25人来丹(1回目) フィールドワークやグループワークを通じて提言発表 H25.11月以降 テレビ会議開催 H25.12月 大学生4人来丹(2回目) 御旅フリーマーケット視察、提言に関する意見交換 H26.1月 大学生5人来丹(3回目) 地域資源調査 H26.2月 大学生4人来丹(4回目) 夢まち創り大学域学連携報告会参加、最終報告書検討 H26.3月 最終報告書「地域づくり計画」提出</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業期間</th> <th>総事業費</th> <th>国庫支出金</th> <th>府支出金</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 ~ H27</td> <td>3,525</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3,525</td> </tr> </tbody> </table> <p>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度策定</th> <th>期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【市民参加の有無】 有 自分たちが暮らす地域の活性化を自らの手で実現すべく、峰山南地区の住民と慶應義塾大学の学生が協働して活動を行っている。 (全体会議開催回数：4回、参加者：延べ約40人)</p> <p>【今後の事業の方向性】</p> <p>平成25年度に策定した「地域づくり計画」に基づき、平成27年度まで地域資源マップの作成など地域と大学が一体となった活動を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>参 考</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>1,246</td> </tr> </tbody> </table>							事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	H25 ~ H27	3,525					3,525	年度策定	期 間	年度策定		参 考	金額	H23決算	0	H24決算	0	H26予算	1,246
事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																											
H25 ~ H27	3,525					3,525																											
年度策定	期 間																																
年度策定																																	
参 考	金額																																
H23決算	0																																
H24決算	0																																
H26予算	1,246																																
【事業実施の経緯及び成果】	<p>峰山南地区を市内のモデル地区として位置づけ、慶應義塾大学との連携により、「地域の特産物や歴史・文化遺産などありとあらゆる地域資源を活用しつつ、峰山南地区の振興を果たし、市街地活性化を実現する」というテーマの下、平成25年度から3年間を事業期間として活動を行うこととした。</p> <p>平成25年度には慶應義塾大学の学生が事前訪問を含め5回来丹するなか、地域との信頼関係づくりや地域資源の調査を積極的に行い、今後の活動の方向性をまとめた「地域づくり計画」を策定した。</p>																																
【事業費内訳】		合 計		1,033																													
節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額																												
09	普通旅費	33																															
13	地域活性化支援事業委託料	1,000																															

平成25年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 304	説明資料	P. 288	款 項 目 事業 細事	10 01 02 50 01	教育費 教育総務費 事務局費 事務局一般経費 事務局一般経費	部・局 課 計画項目 基本方針	12 01 Ⅳ ②	教育委員会事務局 教育総務課 生涯学習都市 学校教育の充実
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	--	--------------------------	--------------------	--

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額																									
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他																											
京丹後市教育振興計画の策定	1,687					1,687	1,687																									
【項目の決算概要】	特 定 財 源 の 内 訳																															
<p>本市の教育の振興を図るための基本的計画として「京丹後市教育振興計画」を策定するもの。関係機関等から20人を委嘱し策定委員会を設置した。(平成25年9月26日)</p> <p>○京丹後市教育振興計画策定委員会設置経費 290千円 ・委員謝礼(20人)及び費用弁償</p> <p>○京丹後市教育振興計画作成委託料 1,397千円 ・助言、指導やデータ整理、計画素案作成業務</p> <p>【策定委員会】 第1回(平成25年9月26日) ・京丹後市教育振興計画策定について ・京丹後市の教育における現状や課題について</p> <p>第2回(平成25年12月18日) ・教育委員会所管の各計画と現状について</p> <p>第3回(平成26年1月28日) ・京丹後市の教育における現状・課題及び施策の方向性について</p> <p>第4回(平成26年3月4日) ・京丹後市教育振興計画(骨子案)について</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業期間</th> <th>総事業費</th> <th>国庫支出金</th> <th>府支出金</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 ~ H26</td> <td>3,606</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3,606</td> </tr> </tbody> </table> <p>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22 年度策定</th> <th>京丹後市学校再配置基本計画</th> <th>期 間</th> <th>H23年度~H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 年度策定</td> <td>京丹後市スポーツ推進計画</td> <td></td> <td>H26年度~H29年度</td> </tr> </tbody> </table> <p>【市民参加の有無】 有 市内各種団体の代表者並びに学識経験者等で組織する、京丹後市教育振興計画策定委員会(委員20人)を設置し、4回の策定委員会を開催し、計画策定に係る協議を行った。</p> <p>【今後の事業の方向性】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>参 考</th> <th>H23決算</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <th>H24決算</th> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <th>H26予算</th> <td>1,919</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度に計画の素案までをまとめ、平成26年度には計画を策定し、平成27年度から10年間、本計画により京丹後市の教育を推進する。</p>	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	H25 ~ H26	3,606					3,606	H22 年度策定	京丹後市学校再配置基本計画	期 間	H23年度~H32年度	H25 年度策定	京丹後市スポーツ推進計画		H26年度~H29年度	参 考	H23決算	0		H24決算	0		H26予算	1,919
事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																										
H25 ~ H26	3,606					3,606																										
H22 年度策定	京丹後市学校再配置基本計画	期 間	H23年度~H32年度																													
H25 年度策定	京丹後市スポーツ推進計画		H26年度~H29年度																													
参 考	H23決算	0																														
	H24決算	0																														
	H26予算	1,919																														
【事業実施の経緯及び成果】	<p>教育基本法第17条第2項の規定に基づき、平成20年7月に国の「教育振興基本計画」が策定され、平成23年3月には「京都府教育振興プラン」が策定された。本市でも国・府の計画を参酌し、平成27年度から10年後を見据えた教育振興のための施策に関する基本的な計画である「京丹後市教育振興計画」を、平成25年度及び平成26年度の2か年で策定することとし、初年度として京丹後市教育振興計画策定委員会を設置し、4回の策定委員会を開催し協議を行った。</p> <p>京丹後市の教育のあるべき姿について、市民の意見・大学教授の見解等、京丹後市の教育の振興計画へ沢山の意見をいただき素案を作成することができた。</p>																															
【事業費内訳】		合 計		1,687																												
節-ト	細 節 等 名 称	金 額	節-ト	細 節 等 名 称	金 額																											
08	京丹後市教育振興計画策定委員会謝金	234																														
09	京丹後市教育振興計画策定委員会参集旅費	56																														
13	京丹後市教育振興計画作成委託料	1,397																														

